

平成30年度		自己点検	幼保連携型認定こども園 長坂保育園	
	評価項目		実施状況	達成状況
I 福祉サービスの基本方針と組織				
1	○理念が明文化されている		A	a
コメント	マニュアルで明文化されており、ミーティングや園内研修で確認している。			
2	○理念や基本方針が職員に周知されている		A	a
コメント	ミーティングや園内研修などで周知する取り組みを行っている。			
3	○理念や基本方針が利用者等に周知されている		A	a
コメント	入園の際や入園進級式の時に説明をしている。しおりやホームページに記載している。			
4	○施設長自らの役割と責任を職員に対して表明している		A	a
コメント	朝礼や会議等で職員に伝えている。			
5	○遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている		A	a
コメント	研修などに参加して理解を深め、会議等で伝達している。			
II 組織の運営管理				
6	○職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている		A	a
コメント	必要に応じて、話し合いが行われ、園長や職員間で相談しながら、勤務の形態を変更する等している。			
7	○職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている		A	a
コメント	新人、中堅等それぞれに合った研修に参加できるよう明示されている。			
8	○個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている		A	a
コメント	希望を聞いたり、バランスを配慮したりしながら、様々な研修に参加している。計画に基づいて研修している。			
9	○定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている		A	a
コメント	研修参加者は復命書を提出し、回覧をして全職員が見れるようにしている。また園内研修等で報告し、共有している。			
10	○実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している		A	a
コメント	マニュアルに明記され、担当者も決められている。実習生の希望を聞きながら計画を立て、職員に周知している。			
11	○実習生の育成について積極的な取り組みを行っている		A	a
コメント	実習ノートに所見を書き、毎日の反省会や責任実習、全体での反省会を行い、アドバイスをしている。(今年度 八戸短大1名)			
12	○民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取組を行っている		A	a
コメント	ふれあい広場に民生委員の方や地域の方(鹿友会)を呼んで一緒に遊んでもらい、子育てのアドバイスをしてもらっている。あいさつ運動やごみゼロ運動、地域の消防訓練等にも参加している。			
13	○近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼する等の配慮をしている		A	a
コメント	年2回の総合避難訓練では、近田会計事務所職員の避難誘導の協力を得ている。園の行事について、ホームページにも掲載する等している。			
14	○中高生などの保育体験を受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解され、受入れの担当者も決められている		A	a
コメント	マニュアルがあり、計画を立て職員に周知し、担当者も決められている。(今年度根城中学校職場体験4名)			
15	○育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている		A	a

コメント	評価項目	NO.2	実施状況	達成状況
16 ○ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している		A	a	
コメント マニュアルに明記されて、担当者も決まっている。				
17 ○認定こども園の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、職員が共有している		A	a	
コメント マニュアルに明記している。変更や情報があった場合は会議等で伝達し、共有している。 小学校からの手紙等も回覧し、情報を共有している。				
18 ○園児の健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている		A	a	
コメント 嘴託医があり、年2回の健診時に相談に応じてもらっている。				
19 ○育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている		A	a	
コメント マニュアルに記載され、相談できる体制になっている。				
20 ○小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。		A	a	
コメント 運動会や発表会、合同学習会や給食試食会などに行って交流している。小学校の先生と話し合う機会がある。 幼保小連携の研修にも参加している。				
III 適切なサービスの実施				
21 ○利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している		A	a	
コメント マニュアルがあり、会議でも確認をしている。				
22 ○利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している		A	a	
コメント 年に1度アンケートを取り、改善に向けての取り組みを行い、意見箱も設置している。クラス懇談会でも保護者の要望を聞いている。				
23 ○利用者満足の向上にむけた取組みを行っている		A	a	
コメント 必要に応じて話し合い、改善できるところは取り組んでいる。父母の会役員会(年2回)で、アンケートについて伝えたり、行事の反省や次年度の計画について話し合ったり、保育についての意見や要望を聞く機会を設けている。				
24 ○苦情解決の仕組みが十分に周知され、機能している		A	a	
コメント 担当者が決められており、入園のしおりに記載され説明の際に伝え、玄関にも掲示している。				
25 ○利用者からの意見等に対して迅速に対応している		A	a	
コメント マニュアルに明記。意見があった場合は園長・園長代理・副園長に報告し、その都度対応している。				
26 ○教育・保育の質の向上や改善のための取組みを職員参加により行っている		A	a	
コメント 毎月、職員会議・ワークミーティング・チームミーティング等を設け、取り組みを行っている。また必要に応じて話し合っている。				
27 ○教育・保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている		A	a	
コメント ワークミーティングなどにおいて、月ごとの評価や行事での反省や見直しを行い、不都合な点を話し合い、必要に応じて改善している。また、年度末には1年間を振り返っての自己評価を行っている。				
28 ○利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている		A	a	
コメント 見守るカルテや児童表に記録し、会議で共有している。0・1・2歳児は毎月の個人目標、3歳以上児は年に3回の保育目標を立てている。一人ひとりについてもっと把握できるようにしていきたい。				
29 ○利用者に関する記録の管理体制が確立している		A	a	
コメント 児童票は園長が管理しており鍵がかかっている所に保管している。月や週のカリキュラム等はワーカルームで保管している。徹底されていないクラスもあるので、きちんと守られるようにしていきたい。				
30 ○利用者の状況に関する情報を職員間で共有している		A	a	
コメント 一人一人の家庭状況、子どもの発達状況、個人目標など、会議やミーティング等で話し合う機会を設け、共有している。				
31 ○情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている		A	a	

コメント	ホームページやかわら版で園の様子を伝えている。お知らせ等も帳面や玄関に掲示したり、日中の様子も写真で伝えたりしている。		
	評価項目	NO.3	実施状況 達成状況
32	○入所にあたり、利用者等にわかりやすく説明している		A a
コメント	園長や副園長が園全体の説明、担任が個別の問診やクラスの説明している。見学に来た際は園内を回りながら説明をしている。		
33	○一人一人の園児の発達状況に配慮した指導計画となっている		A a
コメント	0・1・2歳児は毎月の個別計画があり、3歳以上児は年3回個人目標を立てている。 定期的に見守るチェックをしているが、気になる子や、配慮の必要な子に合った指導計画も必要。		
IV 子どもの発達援助			
34	○教育・保育計画が、園の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている		A a
コメント	アンケートやクラス懇談会の意見等を参考にし作成されている。地域の行事も取り入れている。		
35	○指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している		A a
コメント	月案・週案の自己評価をし、ワークミーティングでチェックを行い、次の月の指導計画に反省を生かしている。		
36	○登所時や在園中の園児の健康管理は、マニュアル等があり園児一人一人の発育・発達状況 健康状態に応じて実施している		A a
コメント	登園時に、一人一人の様子を「健康観察チェック表」に記入している。毎月身長体重を測定し定期的にチェックを行っている。		
37	○健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを教育・保育に反映させている		A a
コメント	結果を保護者に伝え、気になったことや嘱託医からのアドバイスなどは職員間で共有している。		
38	○歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを教育・保育に反映させている		A b
コメント	連絡帳に結果を貼って保護者に伝えている。歯磨きについての話はしているが、もう少し具体的な歯磨きの指導が必要。		
39	○感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している		A a
コメント	マニュアルがある。看護師から発症状況・病気の内容・予防・配慮事項を会議などで伝えている。 保護者へも玄関のボードやホームページで伝えている。		
40	○食事を楽しむことができる工夫をしている		A b
コメント	セミバイキング方式の給食で、個人差や体調、食欲に応じて量を加減したり、配膳や後片付けも自分で行っている。 食材に興味を持てるような掲示物や栄養についての話しがもっと必要だった。0・1・2歳児は畠に関わることが少なかった。		
41	○園児の喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に生かしている		A b
コメント	調理員も一緒に給食を食べている。会議で喫食状況などを伝えているが、量や大きさなど上手く伝わっていない事があった。 材料など何が入ったいるのか、子どもたちに分かる工夫が必要。		
42	○園児の食生活を充実させるために、家庭と連携している		A a
	献立表に家庭でのポイントを記載したり、給食試食会で意見交換などが行われている。		
43	○アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている		A a
コメント	アレルギー疾患の相手を基に、除虫剤を提供している。アレルギー元は加湿器、フルーツの巴、アレルギーの巴、食器の巴、クリップを付ける等、給食と連携しながら進めている。		
44	○子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している		A b
コメント	園児の興味、発達に応じて環境の見直しをしたが、掃除が行き届いていない所があったので、担当や曜日を決めるなどしてよりこまめに掃除や消毒をしていく。		
45	○生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている		A b
コメント	取り組んでいるが、落ち着いてくつろげる環境が必要。0・1・2歳児はもっと自然物を環境に取り入れていきたい。		
46	○子ども一人一人の理解を深め、受容しようと努めている		A b
コメント	心掛けてはいるが、場合によって穏やかに話せない事があったので、より気を付けていく。		

47	○基本的生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している コメント 園児のペースや個人の状況に応じて対応や援助を行っている。	A a	
	評 価 項 目	NO.4	実施 状況
48	○子どもが自発的に活動できる環境が整備されている コメント 職員間で話し合ってコーナーを見直したり、充実させるように工夫している。 自発性をもつと發揮できるような働きかけや工夫をしていきたい。	A b	
49	○身近な自然や社会とかかわるような取り組みがなされている。 コメント 天気の良い日などは散歩に出掛け自然に触れたり、博物館や地域の施設に行ったりしている。また地域の行事等にも参加している。生き物に触れる機会が少なかったので、増やしていきたい。	A b	
50	○さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている コメント 自由に表現活動が出来る環境の工夫が必要。製作を直ぐに飾ったり、飾り終わった物の保管や管理をもっと丁寧にしていきたい。	A b	
51	○遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している コメント 当番活動を行い、いつでも異年齢で交流ができるようにしている。0・1歳児と2歳児が交流できる機会をもっと設けていきたい。	A a	
52	○子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している コメント その都度場面に合わせて配慮をしている。オリンピックもあるので、文化の違いを知る取り組みを行っていきたい。	A b	
53	○性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している コメント 性差、子どもの発想、態度、言葉、服装、遊び方、職業、育児、家事など固定的な観念を植え付けるような対応をしていない。	A a	
54	○乳児保育のための環境が整備され、教育・保育の内容や方法に配慮がみられる コメント 配慮に努めている。うつぶせ寝をさせないようにし、睡眠時はSIDSのチェックもつけ、定期的にミーティング等で確認も行っている。	A a	
55	○長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる コメント 配慮はしているが、引き継ぎが上手くされていない事があった。 迎えが遅い園児への対応を工夫していく。(時間を決めおやつを食べる等)	A b	
56	○障がい児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる コメント 今年度ダウン症1名。その他気になる園児の個人の記録を取り、配慮しながら保育を進めている。 個人に合わせて対応しているが、十分ではない。保護者へ障害へ関する情報を伝えていきたい。	A b	
V 子育て支援			
57	○一人一人の保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている コメント 送迎時に情報交換をしている。個別面談は行っていないが、必要に応じて情報交換を行い、毎年クラス懇談会を行っている。	A a	
58	○家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。 コメント 児童票・見守るソフト等に記載している。また、帳面や必要に応じて相談記録ノートに記録し、会議等で共有している。	A a	
59	○園児の発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共に理解を得るために機会を設けている コメント クラス懇談会、給食試食会、自由保育参加日等があり、理解を得る機会にしている。	A a	
60	○虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている コメント 平成30年度、虐待と思われる児童無し。健康観察チェックや着替えの際に体のチェックを行い、何かあれば速やかに園長に情報が届く体制になっている。	A a	
61	○虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について児童相談所などの関係機関照会 通告体制が整っている コメント マニュアルがあり、体制が整っている。	A a	

62	○一時預かりは一人一人の子どもの心身の状態を考慮し通常保育との関連を配慮しながら行っている コメント 健康チェックを行い、保護者とのコミュニケーションを十分にとり、一人一人に合わせた保育を行っている。	A	a
	評価項目	NO.5	実施状況 達成状況
63	○調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。 コメント 水質調査を行っている。マニュアルがあり、毎日掃除を行い清潔に保てるよう心掛けている。 トイレの手洗い場などこまめに確認するようにしていきたい。	A	a
64	○食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応については、全職員にも周知されている コメント マニュアルがあり、園内研修で確認も行った。	A	a
65	○事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている コメント けが記録簿をつけ、月1回 ワークミーティングで話し合いの場を設けている。月に1度園内外の安全点検チェックを行っている。 また、事故防止委員が毎月散歩コースの確認を行い、危険箇所を会議で伝えみんなで情報を共有している。	A	a
66	○事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている コメント マニュアルがあり、職員に配布されている。毎月避難訓練を行っている。一人一人が意識をしていく。	A	a
67	○不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。 コメント マニュアルがあり、訓練を行っている。	A	a

(改善できる点や改善方法)

0歳 : ·自然物を取り入れる事が少なかったので、製作や遊びなど活動内容に取り入れていく。
·給食担当者へもっとこまめに丁寧に伝えるようにし、連携していく。
·給食の際音楽を流したり声を掛けたりしながら、楽しい雰囲気作りをしていく。

1歳 : ·コーナー(環境)の話し合いをもっとするべきだった。月1回話し合いの日を決めて取り組むようにする。
(自発的に遊べるように成長に沿ったコーナーのレベルアップをするべきだった。)
·プランターで野菜を育てたり、以上児の収穫の様子を見に行ったり写真をクラスに掲示するなど、
食育に関心が持てるようにしていく。
·おやつに果物や野菜が出る際、目の前で切る等関心が持てるようにしていく。

2歳児 : ·畠や自然物と関わる機会が少なかった。畠に興味が持てるような声掛けや自然物を取り入れた製作を行っていく。
·くつろいだり癒しの場所が少なかったので、コーナーの一つとして設定したり、ソファーを活用したりしていく。
·共通で使う場所(テラスなど)が汚い時があったので、日にちを決め定期的に掃除をしていく。

3・4・5歳 : ·カーテンやパーテーションを使い、コーナーに仕切りを作りじっくり・ゆったり遊べるようにしていく。
·自由に楽器を演奏できるスペースを設ける。発表会の曲を早めに決め、楽譜を掲示するようにする。
·障害や気になる子について、懇談会などを通して保護者に伝えていく。(行動パターンや対応など)
·ランチルームが変わるので、ゆったり食事が出来るよう音楽をかけたり花を飾ったり、環境を工夫していく。
·月に1回食育の話をし、郷土料理など園児へ伝えているが、給食時の話しが出来ていなかつた。
○色キッズなど栄養素の話しや興味が持てる話を、給食と連携しながら取り組んでいきたい。
クッキングについて、事前にミーティングで調理員と打ち合わせ確認を行うようにしていく。

一時・子育て支援: ·畠に関われるよう、年間計画に畠に関わる月を立てて目安にする。
·いつも同じ反省になっていたため、自己評価の見なおしを何ヵ月に一回と定期的に行う。

給 食: ·栄養に関する話と給食に関する掲示物の内容が乏しかった。担当者を明確にし、年間食育計画に沿って計画的に進め、内容を充実させる。
·給食時間に行う、三色色分けや給食の話しの教え方や、内容がマンネリ化した。準備不足で毎日行えなかつた。
調理員からの給食の話は毎日せず、旬の食材や郷土料理、珍しい食材を使用した時に話しをしていきたい。
旬の食材の一覧を掲示し、目にする機会を増やす。
·旬の食材を毎月献立からピックアップしその食材について学ぶ機会を設ける。

・いつ何の食材について食育を行いたいかを事前にミーティングで保育教諭へ報告相談する。

平成 31年 1月 28日、1月29日に職員参加で実施した。

平成 31年 2月 18日 記録：若江 真瞳花(主幹保育教諭)